

# PAL

Place  
Amie  
Liberte

2026  
vol.  
544

大学広報誌  
[パル]

 **北翔大学**  
大学院 / 短期大学部

理事長・新学長対談

## 北翔大学のめざす未来

北翔大学・北翔大学短期大学部の学び

好きなことを学ぶワクワク感にあふれています

教員・研究紹介

臨床と研究を両軸に社会の課題と向き合う

学生サポート

学生が豊かに学び、成長できる環境を

学生4人に聞きました!

あなたの〈学び〉の必須アイテムは?

Campus Highlights!

就職先一覧

進路決定率・就職(進路)状況

学部・学科ニュース





やまや けいざぶろう／東北大学大学院後期博士課程修了・博士(教育情報学)、中学校教諭、北海道教育委員会を経て、1997年に本学短期大学部・初等教育学科助教授に着任。2018年2月本学学長就任。2024年8月より学校法人北翔大学理事長(2026年2月10日まで学長兼任)。公益財団法人日本高等教育評価機構理事、日本応用教育心理学会理事、日本学校心理学会理事など多数の公職を務める。



# 北翔大学のめざす未来

本学のめざす未来について、  
山谷理事長と佐々木新学長が  
思いを語りました。

北翔大学・  
北翔大学短期大学部 学長  
**佐々木浩子**

**佐々木学長が就任し  
新体制がスタート**

山谷 2026年2月に、これまで副学長を務めてこられた佐々木教授が新学長に就任されました。私は2024年の8月から理事長と学長を兼務してきましたが、これによって理事長業務に専念し、佐々木学長と協力しながら法人と大学の運営に携わることになります。

佐々木 山谷理事長とは8年にわたり、大学のビジョンやめざす教育の在り方を常に共有してきました。新体制となってもこれまでの方向性を継続し、スムーズに大学運営を進められることは大きなメリットだと考えています。

山谷 おっしゃる通りに、学長と理事長が同じ思いを持ち、法人と大学が一体となって運営できることが本学の特長ですね。今後、大学運営を担っていく上で目標としていることは何ですか。

佐々木 私は教育者として、学生との対話を大切にしてきました。今後は教員や職員をはじめ、さまざまな人たちの考えに耳を傾け、対話をしながら、本学をより魅力ある大学にするために尽力したいと思っています。

山谷 私も、本法人や本学の取り組みを多くの人たちに理解してもらったため、これまで以上に自分の考えやメッセージを発信していこうと思います。

**教職協働で取り組む  
第5期中期計画を策定**

山谷 2025年度は、5年ごとに策定している「第4期中期計画」の最終年度

でした。5年間を振り返って思うのは、

新型コロナウイルス感染症への対策に翻弄されながらも、着実に対応してきたということ。さまざまな活動が制限される中、学生が萎縮せず、いかに夢を持って学生生活を送れるように支援するかが課題でした。

佐々木 オンライン授業の導入に伴い、授業が一方通行にならず、学生が意欲的に学ぶためのルールづくりなどに取り組みました。コロナ禍によって教育環境は大きく変化したと感じています。

山谷 そうした中にもあっても、2023年に短期大学部が、2024年に大学が外部の評価機関による認証評価を受審し、適格と認められました。特に、学修成果の可視化や内部質保証において、高い評価を受けたことは、非常に喜ばしいことでした。

2026年度よりスタートする第5期中期計画では「人と社会により近い、優し

## 「よりそう」教育が本学の大きな強みになる

さを力に変えて、未来を切り拓く人材の育成」を基本方針に掲げました。本学が大切にしてきた「よりそう」「学生ファースト」という姿勢が、現代の教育において大きな強みになると捉えています。

佐々木 教育・研究や学生支援の面では、ICTや生成AIなどの活用を時代の変化に合わせて進めていく方針です。また、かねてより取り組んできた学修成果の可視化にも引き続き注力し、「よりそう」教育、学生本位の教育を実現したいと考えています。

山谷 18歳人口の減少が続く中、今後も入学者を確保していくことが重要で、さまざまな資格取得や社会を支えるエッセンシャルワーカーの養成など、本学の実学教育への期待が高まっていることから、今後は高校新卒者に限らず、多様な人たちに門戸を開く検討を進めることも必要になると考えています。

## 学びの価値を高め 豊かな教育環境を築く

佐々木 教育への具体的な取り組みとしては、2026年度以降に入学する学生に対し、自分の学びや活動を「学修ポートフォリオ」として記録できるシステムを導入します。これを活用することで学修成果が可視化され、学生は常に自分の学びの振り返りができ、教員はデータに基づいた的確な指導が可能になります。本学の教育活動の価値をより高めてくれるものと期待しています。

山谷 近年は学修成果の可視化が強くなり、求められるため、新システムの導入は必然でした。大切なのは、蓄積された情報を一元化し、有効活用できるようにすることです。そのためには、職員の協力も不可欠だと考えています。ひとつのチームという意識を持ち、教職協働で取り組んでもらいたいですね。

佐々木 学生と教職員が工夫をしながら、このシステムを育ててほしいと考えています。また、新しい動きとして、生涯スポーツ学部の既存の2学科の専門性を融合・拡大し、2026年度から「生涯スポーツ学科」が始動します。子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に、豊かな生涯スポーツ社会の実現に向けて多様な視点からスポーツを行う人材や環境をサポートする人材の育成を目標にしています。

山谷 社会に貢献できる人材を育て、地域に還元することも大切な役割であり、それが本学の社会的な評価にも結び付いています。そうした学びや人材育成の強化に加え、教育環境の整備にも引き続き

き取り組んでいきます。ソフト、ハード両面で、「よりそう」教育、「学生ファースト」の教育をめざしていく考えです。

## 信頼され、愛される 大学の未来を描いて

佐々木 本学の建学の精神には、「自立できる社会人の育成」とあります。現代は生成AIの活用が当たり前になっていますが、学生にはどの情報が正しく、何を学ぶ取るのかを考え、判断し、行動する力を養ってほしいと思います。

山谷 今から20年ほど前、ある高校の先生に「北翔大学は化ける大学ですね」と言われたことがあります。その高校から本学に進学した学生が教育実習に行った際、高校時代とは別人のように率先して行動する姿を見て、その成長への驚きから出た言葉でした。これは現在でも続いており、広報担当職員が高校教員から同様のお言葉を頂戴した際には喜びを込めて私に報告してくれます。



ささき ひろこ／北海道大学大学院医学研究科社会医学系専攻博士課程修了・博士(医学)。2000年に本学短期大学部・保健体育学科講師に着任。2018年より北翔大学・北翔大学短期大学部副学長を務め、大学・短期大学の教学(内部統制・コンプライアンス)を担当。2026年2月11日より北翔大学・北翔大学短期大学部学長に就任。専門分野は衛生学、健康科学。

## 地域の期待に応え、信頼される大学でありたい

自立した人間を育てるといふ本学の伝統は、これからも引き継がれていくはず。です。

佐々木 それには教職員が学生一人ひとりにより近い、自主性や個性を引き出す教育を続けていくことが大切ですね。

山谷 「よりそう」教育とともに重視しているのが地域との関わりです。本学は地域の方々に支えられ、成長してきました。社会で活躍する卒業生への評価も高く、地域から多くの期待や応援が寄せられるのが自慢でもあります。

佐々木 そうした地域の方々への思いに応え、信頼される大学であり続けるのが目標です。そのためにも、本学と関わるすべての人たちにより添っていくことが必要なのだと思います。

山谷 そうですね。教職員と心を合わせ、「よりそう」教育の実現をめざすとともに、地域の方々や多くの卒業生とのつながりを大切にしながら、信頼され、愛される法人・大学づくり共に取り組んでいきたいと思います。



2025年11月29日に「第2回北翔大学吹奏楽フェスティバル」を、北翔大学アリーナで開催しました。この演奏会は、教育学科音楽コース履修生による「ウインドオーケストラ」が企画運営し、近隣の中学校・高等学校の吹奏楽部と、ゲストとして陸上自衛隊北部方面音楽隊を招き、2024年に初開催したものです。反響が大きかったことから、2回目の開催に至りました。

1部ではそれぞれの学校が演奏を披露しました。続く第2部は合同ステージとして、陸上自衛隊北部方面音楽隊とウインドオーケストラを交え、200名近い人数による大合奏を行いました。生徒の皆さんは、音楽隊や大学生との共演に刺激を受け、スキルアップにつながったようです。また、来場者からは「楽しい演奏会だった」という、うれしい感想をいただきました。



## 吹奏楽フェスティバル 中高生やゲストと共に圧巻の大合奏を披露



# 2025.4 → 2026.3 Campus Highlights! キャンパス・ハイライト

## UNIVAS CUPにおいて念願の北海道地区1位を獲得 トロフィーと表彰状の授与式が行われました



大学スポーツの総合力を競う、競技横断型対抗戦「UNIVAS CUP 2024-2025」において、本学が初の北海道地区1位を獲得しました。これを受け、2025年6月12日に、同大会を主催する大学スポーツ協会の常務理事 笹崎隆広氏とUNIVAS事業企画部 部長 宝来俊彦氏が本学を訪れ、表彰状とトロフィーの授与式が行われました。

授与式には約40名の学生と教職員が出席し、山谷敬三郎学長(現理事長)と、男女バドミントン部主将の2名が代表として表彰状を受け取りました。その後、常務理事 笹崎隆広氏から、本学のポイントの獲得状況について説明があり、男女バドミントン部、男女バレーボール部、ソフトテニス部、硬式テニス部の6つの部活動が活躍したことでポイントが積み重なり、北海道地区1位の座を獲得できたことが報告されました。本学では、今後も学生がスポーツなどで力を発揮できるように、支援を続けていきます。



2025年9月20日に北翔大学学祭「北翔祭」を開催しました。今回は「意気翔天」をテーマに掲げ、大学祭実行委員の学生たちが中心となって、個性あふれるステージや模擬店、学びの成

## 個性あふれる多彩な企画 北翔大学学祭を開催

果を活かした展示など、多彩な催しを企画。当日はゲストに人気芸人の「真空ジェシカ」と札幌発のロックバンド「北風と太陽」を招き、多くの来場者で賑わいました。



台湾・台北市立建安国民小学校の校長と教員、児童など40名が2025年6月19・20日に本学を訪れました。児童は芸術体験ワークショップに参加し、学生

## 台湾の小学校と国際交流、 相互訪問へ発展

のサポートのもと、彫刻と日本画の制作に取り組みました。同年9月には海外研修で同小学校を訪問し、学生が日本文化をものづくりで紹介しました。



2025年9月20日に北翔大学現職教員研修会を開催し、学校で働く卒業生や教職志望の在学生など約80名が参加しました。山谷敬三郎学長(現理事長)による「多様化する子どもたちへの

## 教員として働く卒業生が 学び、成長する機会に

課題への対応」をテーマにした講演会や本学教員との情報交換会を通じ、卒業生たちは教育への姿勢を改めて見つめ直すとともに、現場での実践や悩みを共有しあうことで研鑽を深めました。



### 女子バドミントン部

## 江別市長を表敬訪問し 結果報告を行いました



女子バドミントン部が「文部科学大臣杯争奪第76回全日本学生バドミントン選手権大会」および「秩父宮 秩父宮妃杯争奪第76回全日本学生バドミントン大学対抗戦」の結果を報告するため、2025年11月27日に江別市長 後藤好人氏を表敬訪問しました。全日本学生選手権大会では女子シングルスとダブルスにおいて3位入賞を、大学対抗戦では女子団体戦において3位入賞を果たしたことに、江別市長 後藤好人氏からはねぎらいと今後のさらなる飛躍を期待する言葉をいただきました。部員たちは、「次こそは優勝の報告をしたい」と思いを新たにしていました。



### 女子バスケットボール部

## 強豪が集う全国大会での 活躍を誓いました



女子バスケットボール部は2025年秋に開催された「北海道大学バスケットボール選手権大会」において全勝優勝を果たし、41回目となる「第77回全日本大学バスケットボール選手権大会(全日本インカレ)」への出場権を、2年連続で獲得しました。また、北海道代表として「第92回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会ファイナルラウンド」への出場権も得ました。部員たちは2025年11月27日に江別市長 後藤好人氏を表敬訪問し、日頃の支援への感謝を伝えるとともに、全国からトップクラスのチームが集う大会で全力を尽くすことを誓いました。



## 就職先一覧 [2025年3月卒業生]

### スポーツ教育学科

北海道八雲高等学校(保健体育)、北海道社醫高等学校(保健体育)、札幌市立西野中学校(保健体育)、札幌市立美香保中学校(保健体育)、苫小牧市立明野中学校(保健体育)、北海道札幌伏見支援学校、北海道鷹巣養護学校、陸上自衛隊・国土交通省 北海道開発局、北海道警察、千歳市、小平町(消防)、(株)オカモト、コナミススポーツ(株)、(医社)履信会 さっぽろ厚別通整形外科 PHYSIX、リーラス(株)、(株)ジャクバ、札幌トヨタ自動車(株)、(株)ユニクロ、(株)良品計画、(株)サッポロドラッグストア、(株)秋田銀行、空知信用金庫、(株)一条工務店、(株)JTB、(株)星野リゾート、ANAエアポートサービス(株)、(株)マイナビ、フルテック(株)、道央農業協同組合 など

### 健康福祉学科

(福)悠生会 ライフプレステージ白ゆりあいの里、(福)北海道友愛福祉会 特別養護老人ホーム 静苑ホーム、(福)旭川光風会 養護盲人老人ホーム 旭光園、(福)秀寿会 特別養護老人ホーム ケアタウン美しが丘、(福)あむ、(株)青空みらい、ホクシンサービス(株)げんきまるきたごう 児童発達支援・放課後等デイサービス、(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、海上自衛隊、北海道警察、苫小牧市、美明市、芽室町、北海道旅客鉄道(株)、旭川トヨタ自動車(株)、札幌日産自動車(株)、岩崎電子(株)、DCM(株)、野口観光(株)、いわみざわ農業協同組合 など

### 教育学科

札幌市立宮の森小学校、札幌市立旭小学校、江別市立対雁小学校、千歳市立千歳第二小学校、岩見沢市立日の出小学校、北海道夕張高等学校(養護教諭)、帯広市立西陵中学校(養護教諭)、遠軽町立遠軽小学校(養護教諭)、紋別市立渚滑中学校(音楽)、日高町立門別中学校(音楽)、北海道札幌伏見支援学校、北海道星置養護学校、法務省 旭川刑務所(刑務官)、札幌市(保育士)、(学)西野学園 西野第2校幼稚園、(医)徳洲会 札幌徳洲会病院つぼみ保育園、(福)高陽福祉会 認定こども園メルシー学院、児童発達支援・放課後等デイサービスはびねずkids など

### 芸術学科

(株)リサイドワン、アークホーム(株)、(株)カシワバラ・コーポレーション、(株)アイーナホーム、(有)インツキ、(株)ホーム創建、(株)東京スタッフ、(株)グローバルフレーム、稚内市立天北小中学校(美術)、札幌市立宮の森中学校(美術)、(学)恭敬学園 北海道芸術高等学校、(株)インチャージ、(株)アルペン、(株)マッシュスタイルラボ、(株)イシカリデカ、SATO社会保険労務士法人、(株)J.G.コーポレーション、(株)ぬくもりの宿ふる川、(株)KSP-EAST、(株)フェローズ、(株)マーキュリー、(株)LAVA International など

### 心理カウンセリング学科

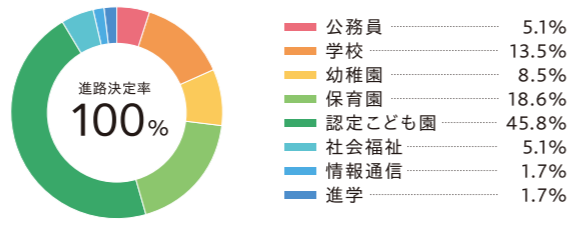
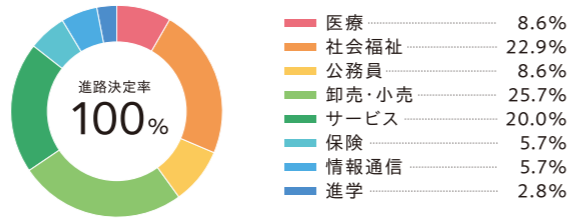
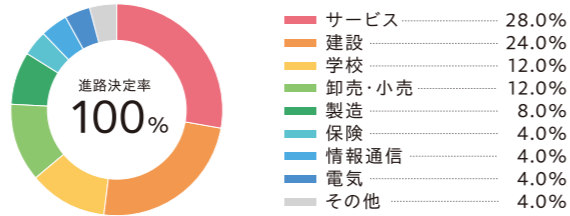
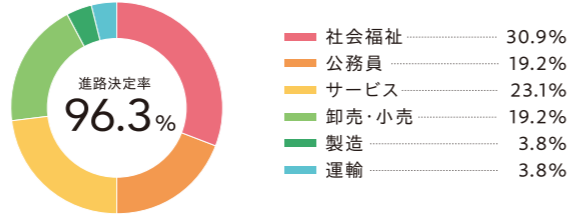
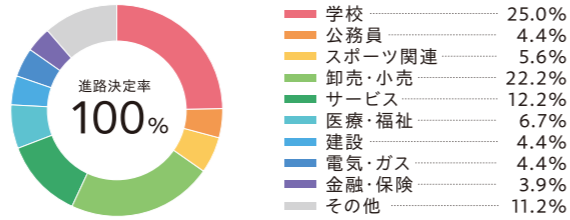
(独)国立病院機構 北海道医療センター、(医)林下病院、(医)緑光会 野宮病院、(公財)北海道精神保健推進協会 こころのリカバリー総合支援センター、(公財)さっぽろ青少年女性活動協会、(福)はるのれ里、(福)北海道光生会、(福)友朋会、(株)エールアライズ、(同)エスエーリンク、ワンダーストレンジホールディングス(株)、北海道(社会福祉)、北海道警察、(株)東横イン、日本郵便(株)、(株)アスクアート、アイングループ、(株)サンドラッグプラス、(株)オンワード樺山、SATO社会保険労務士法人、トランスコスモス(株)、(株)つうけん など

### こども学科

小樽市(保育士)、余市町(保育士)、函館市立高丘小学校、小樽市立奥沢小学校、千歳市立高台小学校、(学)野幌キリスト教学園のっぽろ幼稚園、(学)浅利教育学園 認定こども園西町さつき保育園、(学)あけぼの学園 認定こども園あけぼの、(学)柏学園 認定こども園恵み野幼稚園、(学)明石学園 認定こども園北広島わかば幼稚園、(福)陽光福祉会 こども園ひかりのこさっぽろ、(福)愛敬園 保育所型認定こども園手稲東保育園、(福)札幌愛隣館 札幌愛隣館りんご保育園、(福)札幌保育園 幼保連携型認定こども園さっぽろこども園、(福)高陽福祉会 認定こども園おとぎのくに、(福)みき福祉会 認定こども園白石うさこ保育園、(福)水の会 島松いちい保育園 など

## 進路決定率・就職(進路)状況 [2025年3月卒業生]

※進路決定率は「就職・進学者数÷就職・進学希望者数」で算出しています。



## 今年もたくさんの「せんせい」が生まれます！

2026年度採用の公立学校教員採用候補者選考検査において、本学から170名(現役109名、既卒61名)が第2次検査に合格し、教員登録されました。過去8年間にわたり、受検者全体の合格率を本学の合格率が上回る結果となり、改めて本学の教員養成力の高さが証明されました。

教員不足が社会課題となる中、本学では教員志望者が安定的に増えており、特に保健体育教諭をめざす学生の増加が顕著となっています。本学では教職センターを中心に、社会構造や学生ニーズの変化などに対応し、学生一人ひとりに合わせた個別サポートで目標の達成を支えています。また、道外自治体での受検希望者や既卒生へのフォローなども手厚く実施しています。本学では今後も学生により添い、地域で活躍できる教員養成に邁進してまいります。

## 合格おめでとうございます！

2026年度  
教員採用候補者選考検査 登録者数

170名

2025年12月15日現在

制作において大切にしているのが、「一人にものを伝える」という姿勢です。感覚だけではなく、言語化して意図やプロセスを伝えることが必要なのだと、ゼミの先生からアドバイスをいただきました。このことは、すべての制作に共通する大切な視点だと感じています。

制作した作品は、自身のインスタグラムやグループ展などで発表しています。また、昨年は詐欺被害防止のための啓発動画の制作にも取り組みました。大学での経験を糧に、これからも人に喜んでもらえるものづくりを続けていきたいと考えています。

### 学びや気づきを活かして

もともとDTM(パソコンで作る音楽)が好きで、自分でも楽曲を作っていたのですが、最新の技術を用いて作品を創造する面白さ、イメージをかたちにする楽しさを知り、表現の世界が広がりました。

### 創造する楽しさを知った

音楽とデジタル技術に興味があり、現在はパソコンで取り込んだ音を可視化するソフトウェア(プラグイン)の制作に取り組んでいます。大学で学んだプログラミングの技術を活かし、音を映像としてどう格好良く見せるか、ということも考えながら研究を進めています。



教育文化学部  
芸術学科 メディアデザイン分野  
3年次

田島 遼真 さん

### 北翔大学・北翔大学短期大学部の学び

# 好きなことを学ぶワクワク感にあふれています

学生たちに学ぶ楽しさや興味のあること、これからの目標などを聞きました。

北翔で学んだことで、理想とする保育者像が明確になりました。以前は、自分が幼い頃に好きだった、子どもに優しい先生をイメージしていましたが、現在は、一人ひとりの子どもと向き合い、その言動の裏にある思いまでくみ取ることできる保育者を目標にしています。

### 理想の保育者像を追求

子どもが成長する過程で重要な「環境」や「言葉」などの領域について深く学び、保育活動に必要な知識と技術を身につけています。体を動かしたり、歌を歌ったりする場面も多く、保育現場で活かすことができるスキルを実践的に学んでいます。

### 体を動かして学ぶ面白さ

私は、入学前はものづくりが苦手だったのですが、先生から子どもに伝わりやすいパーツの大きさや色づかいなどのアドバイスを受けたことで、今では教材作りが楽しみになりました。

## 実践的に学んでいます

## 保育に必要な知識と技術を

実践的な学びを通して保育者としての基本を養う



短期大学部  
こども学科 保育コース  
1年次

志賀 のあ さん

# 学生が豊かに学び、成長できる環境を

施設リニューアルや地域との連携を推進し、魅力ある大学づくりに取り組んでいます。

## 図書館

### 図書館をより使いやすく、快適な場所に



本学ではより快適に利用してもらえる図書館をめざし、利用環境の向上に努めています。2025年は夏季休業期間に内装改修工事を実施しました。

改修を行ったのは1階奥の閲覧室(B・Cブロック)、2階の閲覧室(E・Fブロック)と大型本閲覧室(Dブロック)です。床と壁紙の張り替え工事、ブラインドの取り替え工事によって、明るく、開放的な空間になりました。また、個人ブースがあるDブロックのブラインドを、ブルーのロールスクリーンに変更し、空間のイメージを一新しました。

利便性をより高めるために、レイアウトの変更も行っています。今回は1階の入り口近くに設置している資料類の配置を見直し、「キャリア・就活」コーナーを、「教員採用試験」「キャリア・就活」「資格・検定対策」の3つに分けました。これによって、より資料が探しやすくなりました。さらに、活字に触れる機会を増やしてもらうと、「漫画から学ぶ」「コーナーの拡張も行いました。

学びや情報を得る場として、今後もハード・ソフト両面で改善を図り、多くの学生に活用される図書館づくりを進めていきます。

## 教育支援総合センター 学生生活支援オフィス

### 江別市の4大学と江別警察署が協定を締結



2025年12月12日、本学を含む江別4大学と江別警察署が、地域社会の安全・安心の実現を目的に「包括的連携・協力に関する協定」を締結しました。締結式には各大学の学長と江別警察署長が出席し、協定書への署名を行うとともに、安全なまちづくりに向けた協体制の強化を確認しました。

これまで本学を含む各大学は、個別に防犯活動や事故防止の啓発活動などに取り組み、江別警察署との協力を進めてきました。今回の協定締結によって、それぞれが持つ知的・人的資源をより広範囲に活用し、防犯や交通安全、サイバーセキュリティ対策などの啓発活動、さらには学生のキャリア形成支援において、より組織的な連携を図ることが可能になりました。

今後は本協定に基づき、防犯や交通安全啓発活動に加え、学生のキャリア形成支援などを多角的に進めていきます。また、学生が安全・安心な環境で有意義な学生生活を送り、地域社会との関わりの中で学びを得られるよう、多角的な学生支援体制を推進していきます。

# 臨床と研究を両軸に 社会の課題と向き合う

多くの実践経験をもつ飯田 昭人教授に、現在の研究内容や社会課題への取り組みなどを伺いました。

教育文化学部  
心理カウンセリング学科 教授  
学生生活支援オフィス長

## 飯田 昭人



いいた・あきひと / 病院、療育センター、スクールカウンセラーなど、多くの現場で経験を重ねた後、2007年に本学着任。心理学教育に携わるとともに、北海道臨床心理士会会長、北海道いじめ問題審議会会長などの公職を務める。公認心理師、臨床心理士。



心理専門職の先輩としてゼミ生との対話を大切にしています

### 子どもを取り巻く問題に

現代はいじめや不登校、子どもの自殺などがクローズアップされています。私は、子どもや若者のメンタルヘルスに着目し、そうした社会問題に関する実証的研究を続けてきました。

近年の主な研究では、子どもの貧困と教育現場について、保育者・教職員約700名を対象に大規模な調査を実施し、貧困が学習機会だけでなく子どもの自尊感情にも影響を与える実態を明らかにしました。また、コロナ禍が学生に及ぼす影響について5年間にわたる縦断調査を行い、経済的困難感が精神的健康に弱いながらも影響を与えることを発表しました。

現在は「いじめ重大事態調査における心理専門職の役割」の研究に力を入れています。北海道いじめ問題審議会の会長やスクールカウンセラーを務める者として、この研究への取り組みは使命ともいえます。また、不登校やひきこもりを家庭や学校だけの責任にせず、地域社会や専門機関も交えて支えていく「社会支援モデル」の重要性も訴求していきたいと考えています。

私の研究の根底にあるのは、社会が抱える問題と向き合い、子どもとその家族を支援したいという思いです。今から25年ほど前、臨床心理学の第一人者であり、研究と実践に力を注がれた村瀬嘉代子先生に師事し、その考えや生き方共感したことで、私も心理臨床家として社会課題の解決に寄与することを志しました。

### 学生の声

## VOICE

### 自分を成長させてくれる 学びがあります。

教育文化学部  
心理カウンセリング学科 3年次

## 山名 希空 さん



飯田ゼミの魅力は、豊富な実践経験を持つ飯田先生から、具体的なエピソードを聞けることです。何をしたのかだけでなく、そこからどう考えたのかまでを聞くことができ、将来の仕事の参考にもなると感じました。また、文献や論文を読んでまとめたり、仲間と意見交換をする中で、学びへの理解が深まり、自分の成長を実感することができました。当初は学校現場での支援に興味がありましたが、ゼミで学んだことで、より生活場面に近い支援の必要性を知りました。子どもと親との関係や子どもの発達への関心が高まり、将来は子どもの支援に携わりたいと考えています。

### 臨床と研究の循環を

私のゼミでは、こころの問題や子どもと家族への支援などに関心のある学生が意欲的に学んでいます。重視しているのは、目の前の対象と誠実に向き合いながら、そこで得た気づきを客観的データとして社会に還元するプロセス、言い換えると「臨床と研究の循環」です。学生には、人との関わりを通して学び(理論)がどのように作用するのかわかり、その経験や気づきを基に何ができるのかを考え、また学び、行動するという実践と理論の繰り返しを大切にしたいと考えています。

どの学問も時代の変化やニーズを取り入れ、アップデートする必要があります。私が学外の現場と関わり続けるのは、「今を知り、生きた情報を学生に伝えるためです。また、新聞やテレビなどのメディアを通し、私の考えや社会



オープンキャンパスで、ゼミ生が活動内容を紹介しました

の実情を発信することで、こころの専門職の必要性や存在意義を広く伝えることも重視しています。若い人たちがこころに関わる仕事をめざしてくれるように、そしてその人たちが活躍できる環境を実現するために、取り組み続けていきたいと思っています。

### 北翔大学寄付金募集のご案内

本学では、経済的理由により就学の継続が困難な学生への支援や、良質な教育環境の維持のため、寄付金を募集しています。ご支援を賜りました寄付金は有効に活用させていただきます。有能な人材の輩出、社会に役立つ研究成果を通して、広く社会に還元し、貢献してまいります。ご寄付をいただいた金額に税制上の優遇措置を受けることができますので、企業等法人及び個人の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【募集期間】 2029年5月まで  
(常時受付いたします)  
【お問い合わせ】 総務部総務課まで  
詳細は本学ホームページをご覧ください。  
<https://www.hokusho-u.ac.jp/>



### ふるさと納税による本学支援

江別市ではふるさと納税を活用した高等学校・大学支援を導入しており、応援先として本学を指定し寄付を行うことができます。納めていただいた寄付金額から返礼品の経費と江別市の事務経費を差し引いた金額(寄付金額の3割程度)が、本学へ教育環境の充実のための補助金として交付されます。なお、江別市にお住まいの方は、返礼品を受け取ることはできませんのでご了承ください。詳細は江別市企画政策部企画課サイトをご覧ください。

【江別市企画政策部企画課サイト】  
<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/105841.html>



### 御礼申し上げます

多くの皆さまからご支援を賜りました。また、江別市ふるさと納税においてもご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

Department of Art and Design



札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」において、2025年11月15日から2026年1月7日にかけて開催された「北海道美術学生選抜展」に、芸術学科の学生9名が作品を出品しました。普段取り組んでいる油彩画や立体造形などの作品にとどまらず、今回は合作による大型の絵画制作や、500mにおよぶ特有の空間を活かした表現にも挑戦し、大通駅からバスセンター駅間の地下コンコースを歩き交う多くの方に鑑賞していただきました。

同展には本学のほか、道内7校の美術系大学専門学校が特色あふれる作品を出品しました。また、期間中には講評会と交流会が行われ、学生たちは他校の表現から多くの刺激を受けていました。

**500m美術館で行われた  
北海道美術学生選抜展に  
個性あふれる作品を出品**

教育文化学部  
**芸術学科**

Department of Psychology and Counseling



心理カウンセリング学科では、学生同士の親睦を深め、心について学ぶことを目的に、1年次に学外実習を実施しています。2025年度は9月16日に厚真町を訪問し、本学の卒業生・大学院修了生であり、同町の職員として活躍する臨床心理士・公認心理師の杉山効平先生より講話をいただきました。

先生のお話は、胆振東部地震後の厚真町における心を支援する取り組みから、町内の見どころまで多岐にわたり、学内の講義では知ることができない地域の実情などを学ぶことができました。また、心理職のキャリアに関する質問にも丁寧に答えていただき、卒業後の進路を考える機会になるなど、学生にとって非常に有意義な時間になりました。

**1年次の学外実習で  
厚真町で活躍する先輩から  
貴重なお話を伺いました**

教育文化学部  
**心理カウンセリング学科**

Department of Childhood Studies



こども学科では、2025年度より認定絵本士と学校図書館司書教諭を養成しています。認定絵本士養成講座では、高い資質を持つスペシャリストをめざし、企画力、指導力など6つの能力について学びを深めました。また、大学祭では「絵本の広場」を開催し、絵本の展示やミニ絵本作り体験などで実践力を高めました。こうした専門教育によって、2025年11月に1期生・37名の認定絵本士が誕生しています。

資格を取得した学生は「第1回北翔こども絵本感想コンクール」の対象絵本約100冊を選書し、応募作品の審査に挑戦しました。今後は「こども学科絵本士・司書教諭の会」を創設し、現場との情報交流や教育研究活動を行う場を提供していきます。

**北海道の短期大学で唯一  
認定絵本士と  
学校図書館司書教諭を養成**

短期大学部  
**こども学科**

Department of Sport Education



現代は情報機器を利用すれば、デジタル空間上で、世界中のどこへでも行くことができます。しかし、実際に足を運んでみると分らないこと、感じられないことがたくさんあります。

スポーツ教育学科では、野外での活動や教育に関する知識とスキルを学ぶ「野外教育実習」を行っています。2025年度は大雪山系旭岳周辺での縦走登山を実施しました。事前の授業では「1泊2日のテント泊縦走登山を安全に実施できる」ことをめざし、学生が主体的に学びと準備を進めました。また、現地では机上の学習では分からない、得られないことを実際の体験を通して学びました。こうした実習を通して、学生は自分の世界や視野を広げていきます。

**実際に足を運ばなければ  
得られないことを  
体験を通して学ぶ「野外教育」**

生涯スポーツ学部  
**スポーツ教育学科**

Department of Health and Welfare Science



社会福祉士の国家資格取得をめざす学生は、3年次にソーシャルワーク実習Ⅰ、4年次にソーシャルワーク実習Ⅱがあり、合計240時間の実習を行います。2025年10月に、ソーシャルワーク実習Ⅱを終えた4年次による実習報告会を開催しました。

学生たちは、実習にご協力いただいた施設の方や後輩たちを前に緊張した面持ちでしたが、一人ひとりが実習で学んだことや成果などを報告し、実習を通して大きく成長した姿を見せました。実習でお世話になった実習指導者の方々にもご出席いただき、報告する姿を見守っていただいたことは、大きな励みになるものでした。学生たちは実習での貴重な学びを糧に、社会福祉士として貢献していきます。

**4年次による  
ソーシャルワーク実習Ⅱ  
報告会を開催しました**

生涯スポーツ学部  
**健康福祉学科**

Department of Education



教育学科では実践的な学びを重視し、毎年多様な取り組みを行っています。2025年度は、北方圏学術情報センター市民講座「体験型演奏会&美術教室芸術で遊ぼう」において、音楽コースと幼児教育コースの学生が協力し、身近なものを使った楽器作り体験の提供やミニコンサートなどを実施しました。

また、養護教諭コースでは、1年次の授業の中で、4年次が卒業研究を活かした模擬保健教育の授業を行いました。同様に、幼児教育コースでも保育実習を経験した4年次が、1〜3年次の後輩に実習で学んだことを伝える場を設けています。

教育学科では、これからもコースや学年を越えた実践的・体験的な学びを推進していきます。

**学年やコースを越えた  
実践的・体験的な学びの  
充実を図っています**

教育文化学部  
**教育学科**

学生4人に聞きました！

# あなたの〈学び〉の必須アイテムは？

思い入れのあるツールやお役立ちグッズなど、こだわりポイントとともに紹介します。



## A スケジュール帳、楽譜

自分の成長や努力を後押ししてくれます

スケジュール帳は実習などで必要になると思い使い始めました。仕事ができる人みたいで自己肯定感が上がります。楽譜はピアノの練習を頑張ったことを自信に繋げるために持ち歩いています。

## B イヤホン

自分だけの空間で集中したい時に

講義の空き時間に勉強したり、課題に取り組む時、外部の音を遮って集中力を高めるのに欠かせないイヤホン。自分だけの空間に浸れる感覚が好きで、音楽をかけずに使うこともあります。

## C ブッククリップ

厚いテキストを開いた状態でキープ

教科書や参考書などを、開いたまま固定できる大型のブッククリップ。パッと挟むだけで見たいページをキープできるので、試験勉強などをする際にとても役に立っています。

## D パソコン、裁縫道具

大学生の必需品と小学校からの愛用品

大学生といえばパソコン！レポートや実習の日記作成などに欠かせません。裁縫道具は小学生の頃から使っています。手作りした教材が子どもたちの笑顔につながる、大切なアイテムです。

短期大学部  
こども学科  
長期履修2年次

原田 愛菜 さん



教育文化学部  
心理カウンセリング学科  
3年次

橋詰 凌太郎 さん



生涯スポーツ学部  
スポーツ教育学科  
3年次

藤井 幸汰 さん



教育文化学部  
教育学科  
3年次

川村 菜々華 さん



## 淑萃会

「1000円朝食」で  
日々の学びを応援！

本学の同窓会「淑萃会」では、学生の健康を支える「1000円朝食（バイセシメシ）」を年4回実施しています。物価高騰が続く中、学生に朝食を食べる習慣を身につけてほしいという卒業生たちの願いから、栄養満点でボリュームのある朝食を1000円で提供しています。毎回、多くの学生が利用する人気企画となっており、安心して日々の学びに向き合うための大きな支えとなっています。今後も、先輩として学生の充実したキャンパスライフを応援してまいります。



A 極厚サンドウィッチ  
B ローストチキン C 豚キム子丼

学生に朝食を楽しんでもらえるよう、新しいメニューの試作を重ねています！

